

第40回 “木材の実用知識” 講習会開催のお知らせ

木材利用の新しい風を読む

—素材生産から木造建築まで—

我が国の木材産業は、木材需要の変遷の波にもまれながら、その時々々の消費者・需要者のニーズをとらえ、森林資源や流通を含めた諸事情の変化に対応しながら事業活動を展開してきました。とくに近年は消費者・需用者のニーズの多様化が大きく進み、音楽ホールや多目的競技場など、住宅以外への用途開発が盛んに行われるようになりました。2020年開催予定の東京オリンピックに向けて建設される新国立競技場においても、巨大建築物への木材利用が世界に発信されようとしています。木材の利用が大きな追い風を受けていると言っていいでしょう。この「風」を読み、これからの利用技術に何が求められるのか、川上から川下までトータルに考えることが、今後の木材産業の発展に極めて大切です。

そこで、今回の“木材の実用知識”講習会では、素材生産から加工、成分利用、木造建築までを俯瞰し、それぞれの分野で展開されつつある新しい技術、新しい用途開発について専門家の方々に解説していただきます。

素材生産、流通、木材製品の開発・製造に携わっている方々、地方公共団体の担当者の方々はもちろん、住宅分野、大学・試験研究機関の方々も奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

主催：公益社団法人日本木材加工技術協会

後援：(一社)全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、
(公社)日本木材保存協会、日本木材防腐工業組合、日本繊維板工業会、(一社)日本CLT協会
(公財)日本住宅・木材技術センター、(一社)日本木工機械工業会

日時：平成29年2月28日(火) 11:00~16:20

場所：木材会館7階ホール(〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8 TEL 03-5534-3111)
東京メトロ有楽町線、JR京葉線、りんかい線「新木場駅」下車 徒歩3分

受講料：会員16,000円、非会員26,000円(テキスト代含む。後援団体の会員は、会員扱いと致します。
また、今回入会者は会員扱いと致します*。)

定員：100名

〆切：平成29年2月23日(木)(定員に達し次第締め切らせていただきます。)

申込方法：当協会ホームページ(<http://www.jwta.or.jp/>)からお申し込み下さい。

上記HPをご利用できない方は下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：(公社)日本木材加工技術協会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル

TEL：03-3816-8081 FAX：03-3816-7880 E-mail：kakou@jwta.or.jp

*非会員の方は、この機会に是非当協会へご入会下さるようお願いいたします。

年会費：正会員 10,000円、団体会員 20,000円、賛助会員 45,000円

プログラム			(敬称略)
11:00~11:10	開会挨拶	(公社) 日本木材加工技術協会会長	服部順昭
11:10~12:00	新しい原木生産技術 - 最新林業機械と技術開発 -	(研) 森林総合研究所 林業工学研究領域	上村 巧
12:00~12:50	昼 食		
12:50~13:40	新しい広葉樹材利用 - 早生広葉樹の材質と利用 -	九州大学大学院 農学研究院	松村順司
13:40~14:30	新しい集成加工技術 - 幅はぎ, たて継ぎの効率化 -	(研) 森林総合研究所 複合材料研究領域	平松 靖
14:30~14:40	休 憩		
14:40~15:30	新しい成分利用技術 - CNF, リグニン, 抽出成分等 -	(研) 森林総合研究所 研究ディレクター	木口 実
15:30~16:20	新しい木造建築技術 - 規格流通材等の利用 -	東京大学大学院 農学生命科学研究科	青木謙治